

資料編

資料 1 竹原市の概要

竹原市は、広島県沿岸部のほぼ中央に位置する総面積 118.23 km²、人口約 2 万 4 千人のまちで、瀬戸内海の豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。市内南北を二級河川「賀茂川」が流れ、周囲は朝日山など、三方を山に囲まれています。

市の北部には古墳群があり、約三千年前から人々の生活が営まれていたものと推定されます。江戸時代の慶安 3 年（1650 年）に入浜式塩田が開発され、以後 300 年間、塩の町として、また、島しょ部も含めた芸南地区の中核として繁栄してきました。その当時の面影は本市の町並みとして残り、それらの伝統的な建造物群は、我が国にとってその価値が特に高いものとして「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。

交通面では、JR 呉線と国道 2 号が市域を東西に走り、竹原港や忠海港は、本州と瀬戸内海の島々を結ぶ海上交通の拠点の一つとなっています。また、広島空港や山陽自動車道など高速交通体系もあり、陸・海・空の交通拠点に恵まれています。



竹原市の概要

資料2 自然的状況

1 気象

竹原市忠海に位置する「竹原地域気象観測所」における平年値をみると、年平均気温は15.2℃と温暖で、年間降水量は1,158.3mmと少なく、月別では梅雨期・台風期を中心とする6月～9月の降水量が多いなど、瀬戸内気候区特有の気象条件となっています。平均風速は冬期に大きくなっています。

なお、広島地方気象台の平年値（平均気温：16.3℃，降水量：1,537.6mm，日照時間：2,042.3時間）と比較すると、降水量が少ない一方で、日照時間はやや多く、広島県内においても雨の少ない地域となっています。

竹原地域気象観測所における平年値

平均気温 (℃)	平均風速 (m/s)	年当たり 日照時間	降水量 (mm)	統計期間
15.2	2.6	2,089.8	1,158.3	日照以外 1981～2010 日照時間 1986～2010

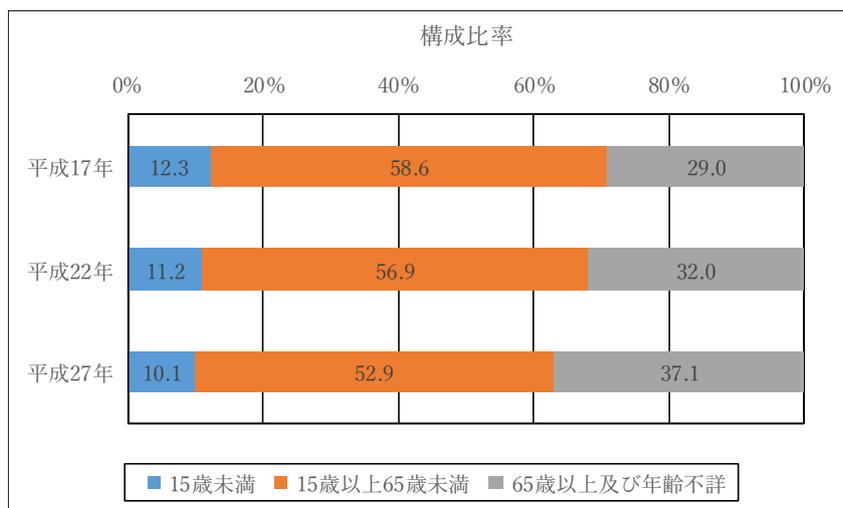
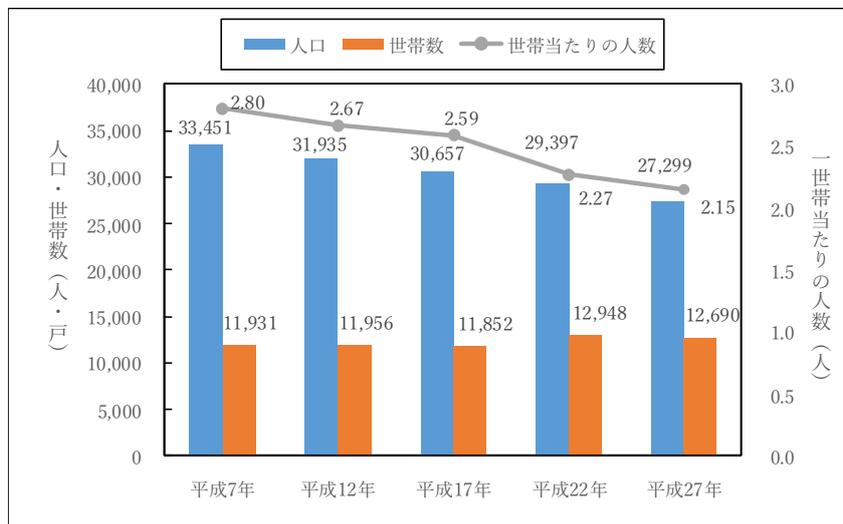
平年値：平均的な気候状態を表すときの用語で、気象庁では30年間の平均値を用い、10年ごとに更新している。現在は原則1981年～2010年の30年間（観測所によってはこれに満たない）の観測値が用いられており、次回の更新は2021年となる。

資料3 社会的状況

1 人口及び世帯数

竹原市の人口は下図にみられるように減少傾向にあり、平成27年10月1日現在の総人口は、20年前の平成7年と比較して18.4%減少し、27,299人となっています。反面、世帯数は20年間で11,931世帯から12,690世帯へと増加しており、一世帯当たりの人数は2.80人から2.15人に減少していて、世帯分離による核家族化がうかがえます。

一方、平成7年以降、15歳未満の年少人口及び15歳以上65歳未満の生産年齢人口の割合はともに減少傾向にありますが、65歳以上の老年人口の割合は増加傾向にあり、少子高齢化が進行しています。



各年10月1日現在 資料：国勢調査

〔注〕四捨五入の関係で構成比率の合計が100%にならない場合がある。

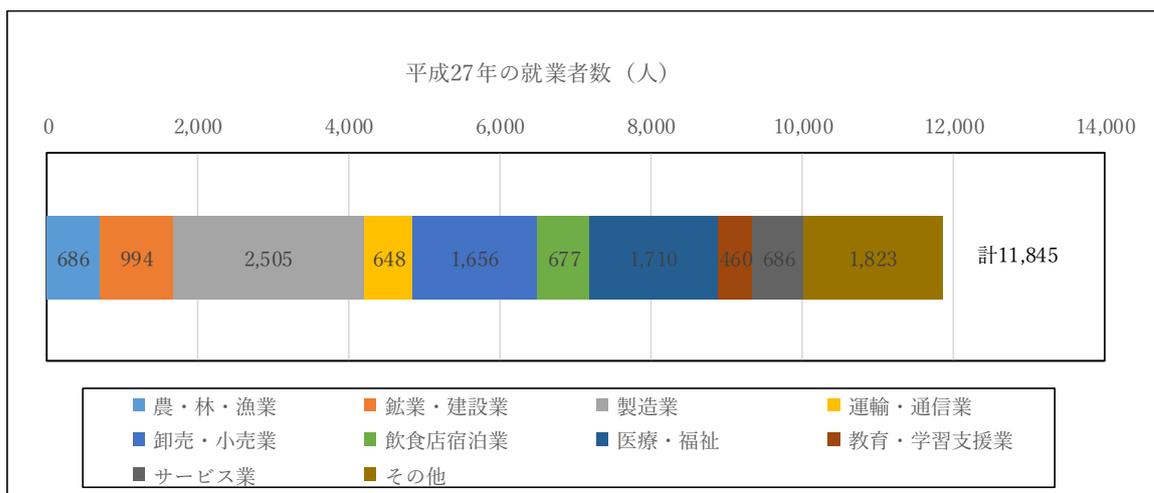
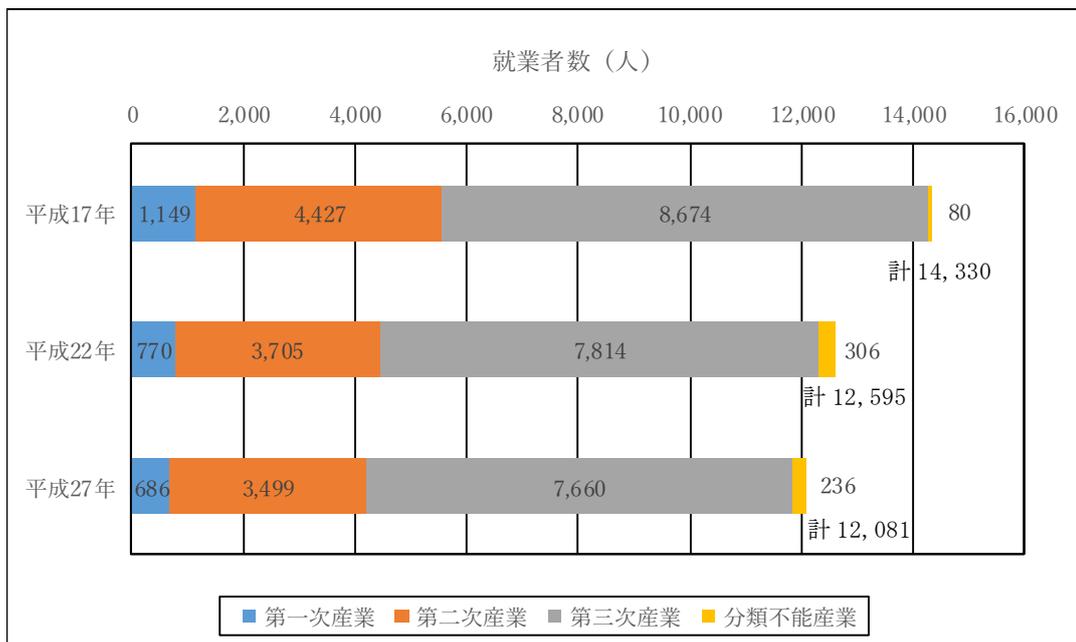
人口・世帯数・年齢階級別構成比率等の推移

2 産業

(1) 産業別就業者数

平成27年の国勢調査による産業別就業者数（15歳以上）は、第一次産業が686人（全体の5.7%）、第二次産業が3,499人（同29.0%）、第三次産業が7,660人（同63.4%）、分類不能が236人（同2.0%）となっています。

平成27年の就業者数を産業大分類別にみると、製造業が2,505人（全体の21.1%）で最も多く、次いで卸売・小売業の1,656人（同14.0%）、医療福祉の1,710人（同14.4%）、サービス業の686人（同5.8%）の順になっています。



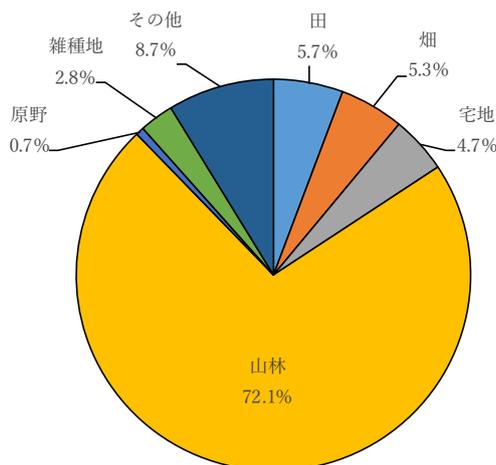
〔注〕平成17年の就業者数の「その他」には、「分類不能産業（80人）」を含む。

産業別就業者数（15歳以上）

3 土地利用

前述のように、竹原市の中部から北部は、標高 200m～500m程度の小起伏山地となっており、賀茂川の河川沿いに農地が、南部の平坦部には市街地や農地が広がり、臨海部は港湾及び工業地帯となっています。

竹原市の地目別面積の割合は下図のとおりです。総面積の 72.1%を山林が占め、以下、田 5.7%、畑 5.3%、宅地 4.7%となっています。



地目別面積の割合（平成 29 年 1 月 1 日現在）

4 公共・公益施設

(1) 公園

竹原市の都市公園（目的に応じて整備した「営造物公園」に分類され、都市公園法に基づく公園。国立公園や県立自然公園は「地域制公園」に分類され、自然公園法に基づく公園。）は下表のとおりです。

竹原市の都市公園（令和 2 年 3 月 31 日）

区 分	公園の目的	箇所数	面積 (ha)
街区公園	誘致距離 250mの範囲内に居住する者の利用に供することを目的	11	2.37
近隣公園	誘致距離 500mの範囲内に居住する者の利用に供することを目的	2	2.3
総合公園	都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的	2	45.4
総 数	—	15	50.07

(2) 下水道

竹原市の公共下水道は、竹原処理区と忠海処理区の2処理区で計画されており、竹原処理区の終末処理場である竹原浄化センターが、平成18年8月に供用を開始しています。

令和2年3月末の整備状況は、下表のとおりであり、下水道普及率は16.8%、水洗化率は81.6%となっています。なお、下水道普及率とは、全体の人口に対する処理区域内人口（下水道を使える人の数）の割合であり、水洗化率とは、下水道を使える人のうち、実際に下水道に接続している人の割合をいいます。

竹原市の公共下水道の状況

項目	単位	R2年3月末の状況
全体計画面積	ha	794.1
認可区域面積	ha	166.3
整備面積	ha	110.1
行政区域内人口	人	24,884
処理区域内人口	人	8,545
普及率	%	16.8
水洗化人口	人	3,409
水洗化率	%	81.6

〔注〕人口については住民基本台帳による。

(3) ごみ処理及びし尿処理施設

竹原市のごみ処理及びし尿処理は、竹原市、東広島市及び大崎上島町で構成する一部事務組合「広島中央環境衛生組合」の施設で行われています。同組合の管理する施設のうち、竹原市内から排出される一般廃棄物の処理施設は下表のとおりです。

これらの施設の排出ガスのダイオキシン類測定結果は下表のとおりで、いずれもダイオキシン類対策特別措置法における排出基準を下回っています。

令和3年10月からは、新しいごみ処理施設である「広島中央エコパーク」が稼働予定で、これにより一般廃棄物の安定的な処理体制を構築します。

広島中央環境衛生組合の一般廃棄物処理施設（竹原市関係分）

区分	施設の名称	処理能力	所在地	処理対象区域
ごみ処理	竹原安芸津環境センター	日当たり 70 t	竹原市吉名町 字山祖 2654	竹原市の全域、東広島市安芸津町の全域
	竹原安芸津最終処分場	埋立容量 15 万 m ³	東広島市安芸津町 大字木谷字柳浦 1620-1	同上
し尿処理	竹原クリーンセンター	日当たり 50 キロリットル	竹原市福田町 字西ヶ迫 3891-1	竹原市の全域

排出ガスのダイオキシン類測定結果 (ng-TEQ/Nm³)

区分	施設の名称	特定施設種類	平成 29 年度	平成 30 年度	適用基準
ごみ 処理	竹原安芸津環境センター(1)	廃棄物焼却炉	1.4	0.017	5
	竹原安芸津環境センター(2)	同上	0.0019	0.015	5
し尿 処理	竹原クリーンセンター	同上	竹原安芸津環境 センターで焼却	竹原安芸津環境 センターで焼却	10

5 文化財

安芸の小京都といわれる竹原市には、多くの文化財があります。竹原市の文化財は下表のとおりで、現在、34件が指定されています。

竹原市の文化財

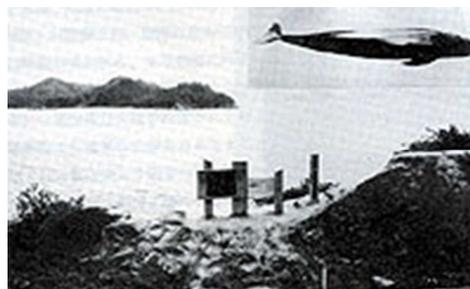
種別	文化財の名称	所在地	指定年月日
国重要文化財	銅鐘（高麗鐘）	本町三丁目 13-1	明治 43 年 4 月 20 日
	春風館頼家住宅	本町三丁目 7-24	昭和 63 年 12 月 19 日
	復古館頼家住宅	本町三丁目 7-26	昭和 63 年 12 月 19 日
国天然記念物	スナメリクジラ廻游海面	高崎町阿波島南端	昭和 5 年 11 月 19 日
	忠海八幡神社社叢	忠海中町三丁目 7-15	昭和 11 年 9 月 3 日
国重要伝統的建造物群保存地区	竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区	本町一丁目、三丁目、四丁目の一部	昭和 57 年 12 月 16 日
国登録有形文化財	旧日の丸写真館	本町一丁目 3-6	平成 26 年 12 月 19 日
県重要文化財	木造十一面観世音菩薩立像	本町三丁目 10-44	昭和 37 年 3 月 29 日
	木造聖観世音菩薩坐像	吉名町観音谷	昭和 53 年 1 月 31 日
県史跡	磯宮	田ノ浦一丁目 6-8	昭和 12 年 5 月 28 日
	唐崎常陸介之墓	本町一丁目 16-22	昭和 17 年 6 月 9 日
	頼惟清旧宅	本町三丁目 12-21	昭和 32 年 9 月 30 日
	木村城跡	新庄町末宗	昭和 48 年 3 月 28 日
県天然記念物	忠海のウバメガシ樹叢	忠海床浦一丁目 12-27	昭和 12 年 5 月 28 日
	楠神社のクスノキ	忠海長浜三丁目 8-1	平成 4 年 10 月 29 日
県無形民俗文化財	福田のししまい	福田町中谷 稲生神社	昭和 56 年 4 月 17 日
	忠海の祇園祭みこし行事	忠海中町三丁目 7-15	昭和 59 年 11 月 19 日
市重要文化財	光海神社棟札	吉名町宮条 2046	昭和 46 年 12 月 27 日
	吉名八幡宮法楽連歌	吉名町宮条 2046	昭和 46 年 12 月 27 日
	駕籠（かご）	忠海床浦二丁目 10-1	昭和 46 年 12 月 27 日
	弾薬輸送庫	忠海床浦二丁目 10-1	昭和 46 年 12 月 27 日
	旧松阪家住宅	本町三丁目 9-22	昭和 60 年 4 月 10 日
	西方寺普明閣・お籠堂	本町三丁目 10-44	昭和 62 年 12 月 26 日
	紙本著色竹原絵屏風	本町三丁目 7-24	平成 2 年 2 月 14 日

	旧森川家住宅	中央三丁目 16-25	平成 16 年 7 月 21 日
	旧吉井家住宅	本町三丁目 8-19	平成 30 年 12 月 21 日
市史跡	福田社倉	福田町中谷 1571	昭和 38 年 9 月 13 日
	郷賢祠	田ノ浦二丁目	昭和 38 年 9 月 13 日
	横大道古墳群	新庄町東鷺ノ森 331	昭和 38 年 9 月 13 日
	田万里鏡田古墳群	田万里町鏡田	昭和 38 年 9 月 13 日
	能島村上氏の遺跡	竹原町 124 外	平成 4 年 12 月 24 日
	東永谷製鉄遺跡	下野町 966-1 の一部 外	平成 20 年 10 月 22 日
市無形民俗文化財	田万里八幡神社当夜祭 オハケ神事	田万里町 1222	平成 25 年 10 月 24 日
市天然記念物	宿根の大桜	下野町字宿郷 359	平成 26 年 4 月 24 日

銅鐘（国指定重要文化財）



スナメリクジラ廻游海面
（国指定天然記念物）



春風館頼家住宅（手前）・復古館頼家住宅
（ともに国指定重要文化財）



頼惟清旧宅（県指定史跡）



福田のしし舞い（県指定無形民俗文化財）



忠海の祇園祭みこし行事
（県指定無形民俗文化財）



竹原市竹原地区伝統的建造物群保存地区
（国選定重要伝統的建造物群保存地区）



西方寺普明閣（市指定重要文化財）

